



⑨⑩迎え花火が盛大に打ち上がる中、御輿は船で関川を下り、再び直江津へ ⑪御輿は関川河口・荒川橋のたもとで陸上げ ⑫直江津19町内の若衆によって威勢よく担がれる御輿 ⑬御輿は、八坂神社に還る前に三・八通りの御旅所へ納められる ⑭4日ぶりに八坂神社へ還御する御輿 ⑮～⑳祭りの最後を飾る御饗米奉納。19町内の青年が屋上に積んだ俵を担ぎ、八坂神社の境内を走り抜けて奉納



高田祇園祭 直江津祇園祭



新潟県無形民俗文化財
日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地 船主集落「樽成文化財」
「直江津・高田祇園祭の御旅所行事と屋台巡行」

7月23日から29日の7日間にわたり、上越まつり「高田祇園祭」・「直江津祇園祭」が行われました。八坂神社の御神体を御輿に移し、直江津から高田へと巡幸するこの独特の祭りは、慶長19年(1614年)に高田藩主・松平忠輝公が直江津の福島城から高田城へ移ったことを機に始まったものです。

令和元年以来、4年ぶりにコロナ禍以前の規模での開催となった今年、祭りを心待ちにしていた多くの人たちの熱気で、まちは大いにぎわいました。

※御旅所とは、祭りの道中に御輿を一時的に安置する御宮のことです。

- ①八坂神社(西本町4)の神輿殿から御輿を出す ②八坂神社の御神体を御輿に移す
- ③高田では、祇園祭の復活を祝う花火を打ち上げ(高田城址公園) ④高田に運ばれた御輿は陀羅尼八幡宮の御旅所(北本町2)で一晩を過ごした後、お馬出し通りの御旅所へ(本町2丁目と3丁目の間) ⑤⑥4年ぶりに実施された本町通りでの大民踊流し
- ⑦⑧「御輿の川下り」の安全祈願祭(稲田橋たもと)。祭りの舞台は高田から直江津へ

